

令和6年度 前期学校評価の結果報告について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、過日、ご協力をいただきました前期学校評価アンケートの結果をお知らせします。この結果を十分に踏まえ、多くの皆様からいただいたご意見を反映し、後期への教育活動に生かしていきたいと考えております。今後とも、ご協力をお願いします。

【評価の程度】 4…とても思う。 3…思う。 2…あまり思わない。 1…思わない。

※ 小数点以下は、四捨五入とする。

No.	対象	質問事項	4	3	2	1
1	保護者	お子さんは、楽しく学校に登校している。	36 %	60 %	3 %	1 %
	教員		39 %	61 %	0 %	0 %
2	保護者	お子さんは、思いやりの心が育っている。	26 %	71 %	3 %	0 %
	教員		11 %	83 %	6 %	0 %
3	保護者	お子さんは、すすんであいさつをしている。	14 %	57 %	26 %	3 %
	教員		11 %	61 %	28 %	0 %
4	保護者	学校は、子どもの学力向上を目指して、分かりやすい授業を展開している。	14 %	76 %	10 %	0 %
	教員		18 %	82 %	0 %	0 %
5	保護者	お子さんは、基礎学力が定着している	12 %	68 %	19 %	1 %
	教員		11 %	71 %	18 %	0 %
6	保護者	学校は、子どもが学習に取り組むために、ICTを効果的に活用している。	9 %	66 %	24 %	1 %
	教員		24 %	58 %	18 %	0 %
7	保護者	学校は、いじめや差別のない指導に取り組んでいる。	13 %	75 %	12 %	0 %
	教員		61 %	39 %	0 %	0 %
8	保護者	学校は、子どもの相談に丁寧に対応している。	18 %	71 %	11 %	0 %
	教員		44 %	56 %	0 %	0 %
9	保護者	学校は子どもの特性や困りごとに合わせて配慮している。	17 %	70 %	12 %	1 %
	教員		44 %	56 %	0 %	0 %
10	保護者	学校は、子どもが安全で安心して学校生活を送ることができている。	25 %	69 %	6 %	0 %
	教員		44 %	56 %	0 %	0 %
11	保護者	子どもたちが体を動かして遊んだり、運動したりしている。	25 %	67 %	7 %	1 %
	教員		50 %	44 %	6 %	0 %
12	保護者	学校から必要な情報を発信されている。	22 %	72 %	6 %	0 %
	教員		28 %	66 %	6 %	0 %
13	保護者	学校は、家庭との連絡を行い、相談のしやすい雰囲気である。	21 %	66 %	12 %	1 %
	教員		33 %	67 %	0 %	0 %
14	保護者	地域人材を活かして、安全指導や学習活動に努めている。	22 %	64 %	14 %	0 %
	教員		44 %	33 %	17 %	6 %
15	保護者	【その他】 お気づきのことがあれば、入力をお願いします。 ★ 詳細は、裏面に掲載しました。	—	—	—	—
	教員		—	—	—	—

前期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回のアンケート結果を職員一同で真摯に受け止め、児童にとって、より良い学校づくりに邁進してまいります。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

1 質問事項より

多くの項目において、80%以上の肯定的なご回答をいただきました。ただし、「あいさつ」については71%「ICT教育」については75%という結果となりました。また、「基礎学力の定着」については80%という結果となっております。

また、昨年度と比較すると「子どもの特性や困りごとに合わせて配慮している(特別支援教育)」については、昨年よりも4ポイント上がった一方で、「地域人材の活用」については、8ポイント下がっていました。

結果と自由記述の内容を受けて、今後以下のように指導に生かしてまいります。

(1)「あいさつ」

○あいさつについては、今後力を入れていく必要があります。まずは、教職員が率先して、気持ちの良い、明るい挨拶をしていくことを徹底していきます。また、児童主体の活動として、計画委員会を中心としたあいさつ運動の実施や給食時間の放送でスクールガードボランティアの方々や地域の方々にあいさつをするよう呼び掛けて、あいさつの輪が広がるよう進めていきます。

(2)「ICT教育」

○タブレットの活用については、学年ごとに授業で積極的に活用しています。ドリル学習だけでなく、タブレットを使い自分の考えを提出し、大型テレビにすべての子どもの考えが映し出され、そこから比較検討をして学びを深めたり、課題を解決するために調べてまとめたりしています。今後は、学習の様子を、ホームページや学校だより等で情報発信をしたり、授業参観でタブレットを活用した授業を展開したりしていきます。

(3)「基礎学力の定着」

○基礎学力の定着については、毎日ドリルタイムを設定し、基礎基本の定着に向けた学習を進めております。しかしながら、このような結果を受け、再度ドリルタイムの学習内容等を見直すこと、タブレットを効果的に活用することを考えていきます。

(4)「地域人材の活用」

○今年度は、2・3年生では、地域学習として地域の事業所に訪問したり、4・5・6年生では、地域の方々を招いて、防災にことや印旛沼のことについて学んだり、各業種の方を招いてキャリア教育の一環として働くことについて学ぶ活動を展開しました。12月以降、1年生では近隣の幼稚園との交流会や地域の方を招いての昔の遊びの学習を実施する予定です。今後も、保護者の方々を含めた地域人材の活用を進めていくとともに、学習内容等の情報発信も積極的にしていきます。

2 自由記述について（要約・抜粋）

○教員の子どもへの伝え方、言葉遣いについて不安を感じることがあります。

⇒学校や教室における教員の言動は、教育上大きな影響をもたらします。教員の言葉遣いは子どもの学習環境の一つです。改めて全職員に、教員の言葉遣いは子どもたちに影響を与えていることを再確認させ、高い人権感覚をもち、何気なく使っている言葉や立ち振る舞いにも細心の注意を払えるようしていきます。

○給食の食べ方について

⇒給食時の机の配置については、子どもたちは「班ごとで食べたい」という意見がある一方で、「前向きで食べたい。マスクは外したくない」という意見もありましたので、グループの形にするか、前向きにするか等は、学年の実態に合わせて、また、子ども達の意見を聞きながら実施しています。ただし、感染症の流行等の状況によって、前向きで食べることを統一することもあります。

○タブレットの持ち帰りについて

⇒子どもたちの心身の健康を踏まえ、学年の実態に応じてタブレットの持ち帰りの意義や方法等について検討しているところです。改めて学校だよりなどを通して、今後のタブレットの持ち帰りについて保護者の皆様へ周知してまいりますので、ご理解とご協力のほどをお願いいたします。

○ICTの活用のより、人とのコミュニケーションや自分の考えを発表する時間が減ってしまい、何の時間かと残念に感じます。

⇒学校は多くの人と関わりながら学ぶことができる場です。あくまでもICTの活用はツール（学習道具）の一つとして捉えています。子どもたちが対話しながら主体的に深い学びができるよう、授業改善に取り組んでいるところです。学年の実態に応じて子ども同士の協働、教員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに、自己の考えを広げ深める学習活動を行ってまいります。

○情報発信について。学校の様子（校外学習やゲストティーチャーを招いて活動等）がわかる情報を発信してほしい。学校からの配付文書は、できるだけマチコミメールにしてほしい。

⇒学校の様子については、できる限りホームページに掲載しております。すべての行事を毎日更新というわけにはいきませんが、学校での子どもたちの学習（校外学習、外部人材を活用した各学年の生活科や総合的な学習の時間等）や活動の様子や日々の給食の様子等が伝わるよう努力していきます。

配付文書については、できる限りマチコミメールを活用しようと考えております。しかし、承諾書など家庭からの返信が必要な書類は紙媒体での配付してきます。今後も、メールと紙媒体の2通りでお知らせします。

○施設・設備について（プール、遊具）

⇒今年度の水泳学習では、機械の故障のため途中で中止となりました。これについては、教

育委員会に報告をしております。来年度も水泳学習は実施しますので、今後の対応等についてわかりましたらお知らせします。

遊具につきましては、ジャングルジムや滑り台、ブランコの補修を要望しました。現時点でブランコ以外は、直していただきました。ブランコについては、再度修繕してほしい旨を伝えております。ただ、他校でも遊具の補修要望があり、順番待ちとなっております。もうしばらくお待ちください。

○通学は徒歩での登下校のほすですが、車や自転車での送迎で近隣に迷惑をかけているように思います。

⇒徒歩通学が原則です近隣の住民の方から、路上駐車に対して学校にも苦情の連絡が入ることがありますので、車での来校は控えるよう、お願いします。